

# 日本橋川清掃活動（第28回） レポート

11月に予定していた河川清掃が雨で中止となったため、約15名の有志により28回目の日本橋川清掃を実施しました。

冬季という事もあり、臭いは殆ど感じられませんでした。相変わらずポイ捨てされたと思われるゴミが多くありました。

日時 2013年12月13日(金) 10:00~12:00

## 【主催】

- 名橋「日本橋」保存会
- 日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- 常盤橋フォーラム

## 【参加企業】

- オフィスドゥ
- タイムデザインコープ
- 地域交流センター企画
- みらい建設工業株式会社
- 三越伊勢丹
- 三菱地所株式会社
- 三井不動産株式会社
- 三井共同建設コンサルタント株式会社

## 【協力】

- 舟宿「三浦屋」（作業船提供）
- 東京都建設局第一建設事務所  
(河川清掃船によるゴミの回収作業)

約15名の皆様  
にご参加いただきました。

## 【2014年の予定】

2014年の予定が決まり次第HP等で皆様にご連絡いたします。  
来年もよろしくお祈りします。  
次回もご参加、よろしくお祈りいたします。



## 【水質調査】

### 気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 11℃、降水量 0mm
直近の降雨	12月10日8時から10日17時にかけて合計 8.5mm
潮位・流向	242cm → 271cm、上げ潮時

### 水質調査結果

地点/項目	単位	目標	① 三崎橋	② 日本橋	③ 豊海橋
透明度	cm	200以上	200	230	240
COD	mg/L	5未満	8	9	5
臭気	-	1以下	1	0	0
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.1	0.05	0.05
硝酸態窒素	mg/L	2未満	10	2	5
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.04	0.05	0.08
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	0.3	0.2	0.7



### CODの目安

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがまわっている	汚れが進んでいる

### 臭気目安

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

透明度も2m以上あり、臭いも殆ど感じられなかった。

※水質調査結果は簡易試験（バックテスト）によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

## ＜ゴミの種類＞

- |          |    |        |   |
|----------|----|--------|---|
| ・ビニール袋類  | 18 | ・段ボール  | 1 |
| ・空き缶     | 6  | ・タバコ箱  | 1 |
| ・ペットボトル  | 4  | ・ボール   | 1 |
| ・発泡スチロール | 3  | ・封筒    | 1 |
| ・カップめん容器 | 3  | ・木の枝、葉 | 多 |
| ・弁当容器    | 3  |        |   |
| ・新聞      | 2  |        |   |
| ・雑誌      | 1  |        |   |
- ・ペットボトル、空き缶類が特に多く、人為的に捨てられたものが殆どであった。  
・この日は、普段ゴミの量が多かった。

## ＜確認された生物＞

- ウミウやユリカモメが確認された
- 亀島川分流地点で最も多くのカモメ類が確認された。



## 用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。  
【リン酸態リン】（評価の目安 きれい：0.05mg/L 未満、0.05~0.2mg/L：少し多い）  
樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。  
【硝酸態窒素】（評価の目安 少ない：1mg/L、通常 1~2mg/L 前後）  
アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が 10mg/L 以下に規制されています。  
【亜硝酸態窒素】（評価の目安 きれい：0mg/L、通常：0.02mg/L 以下）  
亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。  
【アンモニウム態窒素】（評価の目安 きれい：0.2mg/L 未満、少し多い 0.5mg/L 以上）  
タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。